



子どもが1日に一番言う言葉とは…！

突然ですが、多くの幼い子どもが、一日に一番多く言う言葉が何かご存知ですか？
答えは「みて！！」です。

子ども達が見てほしい、注意を向けてほしい、という時に「みて！」と言葉で発信します。自分が得意になって見せたいものをいちばん大好きな人に見てもらおう。

これは、子どもにとって、すごくうれしい報酬です。

子どもの『見て、見て』は大好きな人にしか言わない言葉、つまり好かれている証拠なのです。子どもは「見て」という言葉で大好きな人の注意を引こうとするのですが、大人のタイミングが丁度悪く、すぐに対応できない時もありますよね。そんな時、子どもは、構われないくらいなら、叱られてもいいから構ってもらおうとするのです。忙しい時でも、子どもの「見て！」にはできるだけ応えてあげたいですね。何時間も付き合う必要はありません。ほんの少しの時間（10秒くらい）でいいのです。可能なときにはできるだけ応じてあげましょう。忙しい時やできないときには「あとでね」でも構いわないと思います。手が空いてから『さっきは何だったの？』で、子どもは十分嬉しいものです。できる時に応じる、できない時には『ごめんね』でOKです。そして時間ができたときに「何？何？なあに？」「わあーすごい！」とオーバーリアクションしてたくさん褒めてあげるのが理想ですね！

『愛の反対は憎しみではない 無関心だ』とマザー・テレサの言葉を聞いたことがあると思います。無関心であること、苦しむ者に関わりを持たずに傍観者であることが愛の対極にあると、名言しています。子どもにとって何よりも辛いのは、親など親近者が自分に「無関心」であるということなんですね。

子どもが「見て見て！」と盛んに言ってくる時期は、子育ての中でもそう長くはないと思います。忙しい手を少し止め、なるべく子どもと向き合う努力や工夫をするのも大切かもしれませんね。

夏休みに向けて楽しい計画を立てているご家庭も多いかと思います。

たくさん褒め、親子でスキンシップを取れるといいですね！



いつも親が見ていてくれるという安心感は、子どもが落ち着いて物事を学ぼうとする姿勢の基盤を作っています！

小学校の勉強にも繋がっていきます。ぜひ、お子さんの声に耳を傾けてみてくださいね♪

